



平成 28 年 12 月 12 日

各 位

会社名 日本カーバイド工業株式会社  
代表者名 代表取締役社長 松尾 時雄  
(コード番号 4064 東証第 1 部)  
問合せ先 経理部長 角田 尚久  
(TEL 03-5462-8212)

(訂正)「平成 27 年 3 月期 第 2 四半期決算短信〔日本基準〕(連結)」の一部訂正について

当社は、平成 26 年 11 月 7 日に開示いたしました「平成 27 年 3 月期 第 2 四半期決算短信〔日本基準〕(連結)」の一部を訂正いたしましたので、お知らせいたします。

#### 記

##### 1. 訂正の経緯及び理由

訂正内容及び理由につきましては、本日公表の「決算短信等の訂正に関するお知らせ」をご参照下さい。

##### 2. 訂正箇所

訂正箇所が多数に及ぶため、訂正後及び訂正前の全文をそれぞれ添付し、訂正の箇所には下線を付して表示しております。

以 上

(訂正後)



## 平成27年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年11月7日  
上場取引所 東

上場会社名 日本カーバイド工業株式会社  
コード番号 4064 URL <http://www.carbide.co.jp/>  
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 平田 泰稔  
問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 角田 尚久 TEL 03-5462-8212  
四半期報告書提出予定日 平成26年11月13日  
配当支払開始予定日 —  
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成27年3月期第2四半期の連結業績(平成26年4月1日～平成26年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第2四半期	26,301	0.5	370	△3.6	362	△34.6	△547	—
26年3月期第2四半期	26,181	10.0	384	36.9	553	171.1	290	—

(注) 包括利益 27年3月期第2四半期 △838 百万円 (—%) 26年3月期第2四半期 1,975 百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第2四半期	<u>△6.69</u>	—
26年3月期第2四半期	<u>3.54</u>	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27年3月期第2四半期	<u>60,954</u>	<u>19,532</u>	<u>30.5</u>
26年3月期	<u>63,703</u>	<u>20,503</u>	<u>30.8</u>

(参考) 自己資本 27年3月期第2四半期 18,592 百万円 26年3月期 19,639 百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	0.00	—	2.00	2.00
27年3月期	—	0.00	—	—	—
27年3月期(予想)	—	—	—	2.00	2.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成27年3月期の連結業績予想(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	54,000	△2.5	2,000	70.2	2,000	45.2	500	94.4	6.11

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無  
新規 — 社（社名）、除外 — 社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 有

（注）詳細は、添付資料4ページ「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項（1）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 有
- ② ①以外の会計方針の変更： 無
- ③ 会計上の見積りの変更： 無
- ④ 修正再表示： 無

（注）詳細は、添付資料4ページ「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項（2）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	27年3月期2Q	81,940,298株	26年3月期	81,940,298株
② 期末自己株式数	27年3月期2Q	58,161株	26年3月期	57,784株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	27年3月期2Q	81,882,331株	26年3月期2Q	81,883,678株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外ですが、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続は終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想（平成26年10月29日公表）の見直しは行っておりません。本資料に掲載している業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	4
(1) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	7
四半期連結包括利益計算書	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における世界経済は、米国や欧州諸国では回復局面と思われた景気に力強さを欠く展開となり、中国を中心としたアジア新興国では伸び悩みの傾向が続き、依然として不透明な状況で推移しました。一方、わが国では、消費税増税前需要の反動はあったものの、景気回復政策などを背景に雇用や所得水準は上昇し、個人消費にも底堅さが見られるなど、緩やかな回復基調で推移しました。

当社グループにおいては、機能製品分野では、円安に伴う輸出環境の改善がある一方、原材料価格の高騰などにより厳しい状況が続きましたが、建設・建材関連分野では、住宅着工戸数の増加などもあり堅調に推移しました。

このような状況のもと、当社グループの当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高は 263 億 1 百万円と前年同期比 1 億 1 千 9 百万円 (0.5%増) の増収、営業利益は 3 億 7 千万円と前年同期比 1 千 4 百万円 (3.6%減) の減益、経常利益は 3 億 6 千 2 百万円と前年同期比 1 億 9 千 1 百万円 (34.6%減) の減益となったものの、四半期純損失は法人税等の増加や繰延税金資産の取崩などにより、5 億 4 千 7 百万円 (前年同期は 2 億 9 千万円の利益) となりました。

セグメント別の概況は、次のとおりであります。

## (機能製品)

当セグメントの主な取扱製品は、ファインケミカル製品、メラミン樹脂、接着製品、マーキングフィルム、ステッカー、包装用フィルムなどであります。

このうち、ファインケミカル製品は農薬関連向けは低迷しましたが、電子材料向けが堅調に推移し、前年同期並となりました。メラミン樹脂製品は海外向けが堅調に推移し、前年同期比増収となりました。接着製品は光学関連分野向けをはじめ総じて振るわず、前年同期比減収となりました。マーキングフィルムは海外向けが伸長し、前年同期比増収となりました。ステッカーは東南アジア地域での販売が振るわず、前年同期比減収となりました。包装用フィルムは国内向けが低迷し、前年同期比減収となりました。

以上により、当セグメントの売上高は 116 億 3 千万円と前年同期比 8 億 7 千 8 百万円 (7.0%減) の減収、セグメント利益は 6 億 8 千 5 百万円と前年同期比 3 億 7 千 6 百万円 (35.4%減) の減益となりました。

## (電子・光学製品)

当セグメントの主な取扱製品は、再帰反射シート、セラミック基板、厚膜印刷製品、プリント配線板などあります。

このうち、再帰反射シートは欧州向けが順調に推移したことに加え、円安の影響もあり、前年同期比増収となりました。セラミック基板はスマートフォン向けは堅調でしたが、デジタル家電向けが低調に推移し、前年同期比減収となりました。プリント配線板は情報関連向けが振るわず、前年同期比減収となりました。

以上により、当セグメントの売上高は 71 億 8 千 6 百万円と前年同期比 2 億 2 千 3 百万円 (3.2%増) の増収となり、セグメント損失は 1 億 1 千 6 百万円 (前年同期は 4 億 7 千 5 百万円の損失) と

なりました。

#### (建材関連)

当セグメントの主な取扱製品は、住宅用アルミ建材などであります。

住宅用アルミ建材は主力の手摺、笠木等の販売が伸長しました。

以上により、当セグメントの売上高は55億円と前年同期比7億1千3百万円(14.9%増)の増収、セグメント利益は2億9千8百万円と前年同期比2億2千7百万円(319.7%増)の増益となりました。

#### (エンジニアリング)

当セグメントの主な事業内容は、産業プラントの設計・施工などであります。

産業プラントの設計・施工は国内向け工事案件の完工が増加しました。

以上により、当セグメントの売上高は43億2千5百万円と前年同期比20億4千5百万円(89.7%増)の増収、セグメント損失は3億3千9百万円(前年同期は2千万円の利益)となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

#### (資産、負債及び純資産の状況)

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、前期末比27億4千9百万円減少し、609億5千4百万円となりました。

このうち、流動資産は、大型工事案件に係る売上債権の回収などにより、前期末比26億5千1百万円減少し、281億8千6百万円となりました。固定資産は、設備投資は増加したものの、繰延税金資産の取崩などにより、前期末比9千8百万円減少し、327億6千8百万円となりました。

当第2四半期連結会計期間末における負債は、前期末比17億7千8百万円減少し、414億2千1百万円となりました。

このうち、流動負債は、短期借入金の返済などにより、前期末比30億7千万円減少し、261億2千3百万円となりました。固定負債は、長期借入金の調達などにより、前期末比12億9千2百万円増加し、152億9千8百万円となりました。

当第2四半期連結会計期間末の純資産は、剰余金の配当や為替換算調整勘定の変動などにより、前期末比9億7千万円減少し、195億3千2百万円となりました。

以上の結果、自己資本比率は前連結会計年度末の30.8%から0.3ポイント悪化し、30.5%となりました。

#### (キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結累計期間における営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前四半期純利益などの内部留保の増加により、12億8千9百万円の収入(前年同期は12億5百万円の支出)となりました。投資活動によるキャッシュ・フローは、国内外の設備投資による有形固定資産の取得などにより、11億9千8百万円の支出(前年同期は13億5千8百万円の支出)となりました。財務活動によるキャッシュ・フローは、短期借入金を返済したことなどにより、7億9千万円の支出(前年同期は25億3千2百万円の収入)となりました。この結果、現金及び現金同等物の四半期末残高は、前期末比7億9千3百万円減少して35億3千2百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年10月29日に公表いたしました連結業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用の計算

一部の連結子会社については、当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

（退職給付に関する会計基準等の適用）

「退職給付に関する会計基準」（企業会計基準委員会 平成24年5月17日 企業会計基準第26号）第35項及び「退職給付に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準委員会 平成24年5月17日 企業会計基準適用指針第25号）第67項の定めについて、第1四半期連結会計期間より適用しております。

これに伴い、退職給付債務及び勤務費用の計算方法を見直し、退職給付見込額の期間帰属方法を期間定額基準から給付算定式基準へ変更、割引率の決定方法を従業員の平均残存期間に近似した年数に基づく割引率から、退職給付の支払見込期間ごとに設定された複数の割引率に使用する方法へ変更しております。

同会計基準第37項の定めに従い遡及処理せず、当第2四半期連結累計期間の期首において当該変更に伴う影響額を利益剰余金に加減した結果、主として退職給付に係る負債が133百万円減少し、利益剰余金が65百万円増加しております。

なお、当第2四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,732	4,528
受取手形及び売掛金	15,976	14,890
商品及び製品	4,855	4,792
仕掛品	1,577	1,235
原材料及び貯蔵品	1,904	2,000
その他	948	885
貸倒引当金	△157	△145
流動資産合計	30,837	28,186
固定資産		
有形固定資産		
機械装置及び運搬具(純額)	7,350	6,843
土地	13,707	13,802
その他(純額)	6,977	7,629
有形固定資産合計	28,035	28,274
無形固定資産	498	479
投資その他の資産		
その他	4,557	4,220
貸倒引当金	△225	△206
投資その他の資産合計	4,332	4,013
固定資産合計	32,866	32,768
資産合計	63,703	60,954

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	10,520	9,962
短期借入金	14,460	12,923
未払法人税等	347	225
賞与引当金	496	526
その他	3,368	2,484
流動負債合計	29,193	26,123
固定負債		
長期借入金	6,487	7,474
退職給付に係る負債	3,261	2,993
役員退職慰労引当金	108	59
再評価に係る繰延税金負債	3,745	3,745
その他	403	1,024
固定負債合計	14,006	15,298
負債合計	43,200	41,421
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	7,034	7,034
資本剰余金	2,404	2,404
利益剰余金	2,954	2,308
自己株式	△10	△10
株主資本合計	12,382	11,736
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△5	26
繰延ヘッジ損益	△7	△6
土地再評価差額金	6,683	6,683
為替換算調整勘定	906	340
退職給付に係る調整累計額	△320	△187
その他の包括利益累計額合計	7,257	6,856
少数株主持分	863	939
純資産合計	20,503	19,532
負債純資産合計	63,703	60,954

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
売上高	26,181	26,301
売上原価	20,292	20,333
売上総利益	5,889	5,968
販売費及び一般管理費	5,505	5,597
営業利益	384	370
営業外収益		
受取利息	24	32
受取配当金	58	63
その他	294	188
営業外収益合計	377	284
営業外費用		
支払利息	129	131
その他	78	161
営業外費用合計	208	293
経常利益	553	362
特別利益		
固定資産売却益	21	—
特別利益合計	21	—
特別損失		
固定資産除却損	29	79
減損損失	457	—
特別退職金	169	—
特別損失合計	657	79
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期 純損失(△)	△81	283
法人税、住民税及び事業税	225	289
法人税等調整額	△691	408
法人税等合計	△466	697
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失(△)	384	△414
少数株主利益	94	132
四半期純利益又は四半期純損失(△)	290	△547

## 四半期連結包括利益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失(△)	384	△414
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	148	22
繰延ヘッジ損益	36	1
為替換算調整勘定	1,405	△582
退職給付に係る調整額	—	132
持分法適用会社に対する持分相当額	—	1
その他の包括利益合計	1,591	△424
四半期包括利益	1,975	△838
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,811	△948
少数株主に係る四半期包括利益	164	109

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△81	283
減価償却費	1,252	1,257
減損損失	457	—
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△100	—
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	—	△262
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△93	△49
賞与引当金の増減額(△は減少)	5	30
貸倒引当金の増減額(△は減少)	59	△25
受取利息及び受取配当金	△83	△96
支払利息	129	131
特別退職金	169	—
固定資産除却損	29	79
固定資産売却損益(△は益)	△21	—
売上債権の増減額(△は増加)	△2,071	897
たな卸資産の増減額(△は増加)	88	139
仕入債務の増減額(△は減少)	△481	△442
その他	113	△229
小計	△627	1,712
利息及び配当金の受取額	94	96
利息の支払額	△136	△113
特別退職金の支払額	△169	—
法人税等の支払額	△366	△405
営業活動によるキャッシュ・フロー	△1,205	1,289
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△1,643	△1,361
有形固定資産の売却による収入	227	10
投資有価証券等の取得による支出	△7	△60
投資有価証券等の売却による収入	2	10
貸付けによる支出	△5	△19
貸付金の回収による収入	5	12
その他	63	209
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,358	△1,198
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(△は減少)	1,656	△1,711
長期借入れによる収入	3,000	3,100
長期借入金の返済による支出	△1,873	△1,941
配当金の支払額	△163	△163
その他	△86	△73
財務活動によるキャッシュ・フロー	2,532	△790
現金及び現金同等物に係る換算差額	219	△93
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	187	△793
現金及び現金同等物の期首残高	3,912	4,325
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	96	—
現金及び現金同等物の四半期末残高	4,197	3,532

## (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

前第2四半期連結累計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)

	報告セグメント					調整額 (百万円)	四半期連結 損益計算書 計上額 (百万円)
	機能製品 (百万円)	電子・光学 製品 (百万円)	建材関連 (百万円)	エンジニア リング (百万円)	合計 (百万円)		
売上高							
外部顧客への売上高	<u>12,484</u>	6,961	4,785	<u>1,708</u>	<u>25,939</u>	<u>242</u>	<u>26,181</u>
セグメント間の内部 売上高又は振替高	<u>24</u>	2	2	572	<u>600</u>	<u>△600</u>	—
計	<u>12,509</u>	6,963	4,787	<u>2,279</u>	<u>26,539</u>	<u>△357</u>	<u>26,181</u>
セグメント利益又は 損失(△)	<u>1,061</u>	△475	71	<u>20</u>	<u>679</u>	<u>△125</u>	<u>553</u>

- (注) 1 外部顧客への売上高の調整額には、請負工事に係る収益計上のうち工事進行基準に基づく売上高が含まれております。
- 2 セグメント利益の調整額には、棚卸資産に係る未実現損益及び各セグメントに配分していない一般管理費が含まれております。
- 3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

当第2四半期連結累計期間(自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)

	報告セグメント					調整額 (百万円)	四半期連結 損益計算書 計上額 (百万円)
	機能製品 (百万円)	電子・光学 製品 (百万円)	建材関連 (百万円)	エンジニア リング (百万円)	合計 (百万円)		
売上高							
外部顧客への売上高	<u>11,357</u>	7,185	5,490	<u>3,767</u>	<u>27,799</u>	<u>△1,498</u>	<u>26,301</u>
セグメント間の内部 売上高又は振替高	<u>273</u>	1	10	558	<u>842</u>	<u>△842</u>	—
計	<u>11,630</u>	7,186	5,500	<u>4,325</u>	<u>28,642</u>	<u>△2,340</u>	<u>26,301</u>
セグメント利益又は 損失(△)	<u>685</u>	△116	298	<u>△339</u>	<u>527</u>	<u>△165</u>	<u>362</u>

- (注) 1 外部顧客への売上高の調整額には、請負工事に係る収益計上のうち工事進行基準に基づく売上高が含まれております。
- 2 セグメント利益の調整額には、棚卸資産に係る未実現損益及び各セグメントに配分していない一般管理費が含まれております。
- 3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

(訂正前)



## 平成27年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年11月7日  
上場取引所 東

上場会社名 日本カーバイド工業株式会社  
コード番号 4064 URL <http://www.carbide.co.jp/>  
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 平田 泰稔  
問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 角田 尚久 TEL 03-5462-8212  
四半期報告書提出予定日 平成26年11月13日  
配当支払開始予定日 —  
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成27年3月期第2四半期の連結業績(平成26年4月1日～平成26年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第2四半期	26,470	0.4	914	68.7	932	30.4	15	△96.7
26年3月期第2四半期	26,361	10.5	542	22.3	715	95.0	453	212.6

(注) 包括利益 27年3月期第2四半期 △312 百万円 (—%) 26年3月期第2四半期 2,256 百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第2四半期	0.18	—
26年3月期第2四半期	5.54	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27年3月期第2四半期	61,915	20,900	32.2
26年3月期	64,403	21,345	31.8

(参考) 自己資本 27年3月期第2四半期 19,960 百万円 26年3月期 20,481 百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	0.00	—	2.00	2.00
27年3月期	—	0.00	—	—	—
27年3月期(予想)	—	—	—	2.00	2.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成27年3月期の連結業績予想(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	54,000	△2.9	2,000	43.1	2,000	25.4	500	5.9	6.11

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無  
新規 — 社（社名）、除外 — 社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 有

（注）詳細は、添付資料4ページ「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項（1）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 有
- ② ①以外の会計方針の変更： 無
- ③ 会計上の見積りの変更： 無
- ④ 修正再表示： 無

（注）詳細は、添付資料4ページ「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項（2）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数（四半期累計）

27年3月期2Q	81,940,298株	26年3月期	81,940,298株
27年3月期2Q	58,161株	26年3月期	57,784株
27年3月期2Q	81,882,331株	26年3月期2Q	81,883,678株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外ですが、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続は終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想（平成26年10月29日公表）の見直しは行っておりません。本資料に掲載している業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	4
(1) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	7
四半期連結包括利益計算書	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における世界経済は、米国や欧州諸国では回復局面と思われた景気に力強さを欠く展開となり、中国を中心としたアジア新興国では伸び悩みの傾向が続き、依然として不透明な状況で推移しました。一方、わが国では、消費税増税前需要の反動はあったものの、景気回復政策などを背景に雇用や所得水準は上昇し、個人消費にも底堅さが見られるなど、緩やかな回復基調で推移しました。

当社グループにおいては、機能製品分野では、円安に伴う輸出環境の改善がある一方、原材料価格の高騰などにより厳しい状況が続きましたが、建設・建材関連分野では、住宅着工戸数の増加などもあり堅調に推移しました。

このような状況のもと、当社グループの当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高は 264 億 7 千万円と前年同期比 1 億 9 百万円 (0.4%増) の増収、営業利益は 9 億 1 千 4 百万円と前年同期比 3 億 7 千 2 百万円 (68.7%増) の増益、経常利益は 9 億 3 千 2 百万円と前年同期比 2 億 1 千 7 百万円 (30.4%増) の増益となったものの、四半期純利益は法人税等の増加や繰延税金資産の取崩などにより、1 千 5 百万円と前年同期比 4 億 3 千 8 百万円 (96.7%減) の減益となりました。

セグメント別の概況は、次のとおりであります。

## (機能製品)

当セグメントの主な取扱製品は、ファインケミカル製品、メラミン樹脂、接着製品、マーキングフィルム、ステッカー、包装用フィルムなどであります。

このうち、ファインケミカル製品は農薬関連向けは低迷しましたが、電子材料向けが堅調に推移し、前年同期並となりました。メラミン樹脂製品は海外向けが堅調に推移し、前年同期比増収となりました。接着製品は光学関連分野向けをはじめ総じて振るわず、前年同期比減収となりました。マーキングフィルムは海外向けが伸長し、前年同期比増収となりました。ステッカーは東南アジア地域での販売が振るわず、前年同期比減収となりました。包装用フィルムは国内向けが低迷し、前年同期比減収となりました。

以上により、当セグメントの売上高は 116 億 2 千 2 百万円と前年同期比 8 億 8 千 7 百万円 (7.1%減) の減収、セグメント利益は 7 億 9 千 1 百万円と前年同期比 3 億 1 千 2 百万円 (28.3%減) の減益となりました。

## (電子・光学製品)

当セグメントの主な取扱製品は、再帰反射シート、セラミック基板、厚膜印刷製品、プリント配線板などであります。

このうち、再帰反射シートは欧州向けが順調に推移したことに加え、円安の影響もあり、前年同期比増収となりました。セラミック基板はスマートフォン向けは堅調でしたが、デジタル家電向けが低調に推移し、前年同期比減収となりました。プリント配線板は情報関連向けが振るわず、前年同期比減収となりました。

以上により、当セグメントの売上高は 71 億 8 千 6 百万円と前年同期比 2 億 2 千 3 百万円 (3.2%増) の増収となり、セグメント損失は 1 億 1 千 6 百万円 (前年同期は 4 億 7 千 5 百万円の損失) と

なりました。

#### (建材関連)

当セグメントの主な取扱製品は、住宅用アルミ建材などであります。

住宅用アルミ建材は主力の手摺、笠木等の販売が伸長しました。

以上により、当セグメントの売上高は55億円と前年同期比7億1千3百万円(14.9%増)の増収、セグメント利益は2億9千8百万円と前年同期比2億2千7百万円(319.7%増)の増益となりました。

#### (エンジニアリング)

当セグメントの主な事業内容は、産業プラントの設計・施工などであります。

産業プラントの設計・施工は国内向け工事案件の完工が増加しました。

以上により、当セグメントの売上高は44億3千7百万円と前年同期比21億3千4百万円(92.7%増)の増収、セグメント利益は1億2千3百万円と前年同期比9千4百万円(324.1%増)の増益となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

#### (資産、負債及び純資産の状況)

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、前期末比24億8千8百万円減少し、619億1千5百万円となりました。

このうち、流動資産は、大型工事案件に係る売上債権の回収などにより、前期末比24億3千7百万円減少し、288億4千2百万円となりました。固定資産は、設備投資は増加したものの、繰延税金資産の取崩などにより、前期末比5千万円減少し、330億7千2百万円となりました。

当第2四半期連結会計期間末における負債は、前期末比20億4千3百万円減少し、410億1千4百万円となりました。

このうち、流動負債は、短期借入金の返済などにより、前期末比33億2千8百万円減少し、257億7千4百万円となりました。固定負債は、長期借入金の調達などにより、前期末比12億8千4百万円増加し、152億3千9百万円となりました。

当第2四半期連結会計期間末の純資産は、剰余金の配当や為替換算調整勘定の変動などにより、前期末比4億4千4百万円減少し、209億円となりました。

以上の結果、自己資本比率は前連結会計年度末の31.8%から0.4ポイント改善し、32.2%となりました。

#### (キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結累計期間における営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前四半期純利益などの内部留保の増加により、14億2千7百万円の収入(前年同期は10億5千6百万円の支出)となりました。投資活動によるキャッシュ・フローは、国内外の設備投資による有形固定資産の取得などにより、12億9千3百万円の支出(前年同期は14億6千8百万円の支出)となりました。財務活動によるキャッシュ・フローは、短期借入金を返済したことなどにより、7億9千万円の支出(前年同期は25億3千2百万円の収入)となりました。この結果、現金及び現金同

等物の四半期末残高は、前期末比 7億5千1百万円減少して 35億1千7百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年10月29日に公表いたしました連結業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用の計算

一部の連結子会社については、当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

（退職給付に関する会計基準等の適用）

「退職給付に関する会計基準」（企業会計基準委員会 平成24年5月17日 企業会計基準第26号）第35項及び「退職給付に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準委員会 平成24年5月17日 企業会計基準適用指針第25号）第67項の定めについて、第1四半期連結会計期間より適用しております。

これに伴い、退職給付債務及び勤務費用の計算方法を見直し、退職給付見込額の期間帰属方法を期間定額基準から給付算定式基準へ変更、割引率の決定方法を従業員の平均残存期間に近似した年数に基づく割引率から、退職給付の支払見込期間ごとに設定された複数の割引率に使用する方法へ変更しております。

同会計基準第37項の定めに従い遡及処理せず、当第2四半期連結累計期間の期首において当該変更に伴う影響額を利益剰余金に加減した結果、主として退職給付に係る負債が133百万円減少し、利益剰余金が65百万円増加しております。

なお、当第2四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,675	4,512
受取手形及び売掛金	16,376	15,449
商品及び製品	4,880	4,817
仕掛品	1,577	1,234
原材料及び貯蔵品	1,933	2,032
その他	994	941
貸倒引当金	△157	△145
流動資産合計	31,280	28,842
固定資産		
有形固定資産		
機械装置及び運搬具(純額)	7,250	6,740
土地	13,497	13,583
その他(純額)	6,364	7,000
有形固定資産合計	27,111	27,324
無形固定資産	498	479
投資その他の資産		
その他	5,737	5,474
貸倒引当金	△225	△206
投資その他の資産合計	5,512	5,268
固定資産合計	33,122	33,072
資産合計	64,403	61,915

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	10,510	9,723
短期借入金	14,460	12,923
未払法人税等	331	209
賞与引当金	496	526
その他	3,303	2,391
流動負債合計	29,102	25,774
固定負債		
長期借入金	6,487	7,474
退職給付に係る負債	3,261	2,993
役員退職慰労引当金	108	59
再評価に係る繰延税金負債	3,745	3,745
その他	352	966
固定負債合計	13,954	15,239
負債合計	43,057	41,014
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	7,034	7,034
資本剰余金	2,404	2,404
利益剰余金	3,750	3,667
自己株式	△10	△10
株主資本合計	13,179	13,095
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△5	26
繰延ヘッジ損益	△7	△6
土地再評価差額金	6,683	6,683
為替換算調整勘定	952	349
退職給付に係る調整累計額	△320	△187
その他の包括利益累計額合計	7,302	6,865
非支配株主持分	863	939
純資産合計	21,345	20,900
負債純資産合計	64,403	61,915

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
売上高	26,361	26,470
売上原価	20,343	20,003
売上総利益	6,018	6,466
販売費及び一般管理費	5,475	5,552
営業利益	542	914
営業外収益		
受取利息	24	35
受取配当金	58	63
その他	297	193
営業外収益合計	381	293
営業外費用		
支払利息	129	113
その他	78	161
営業外費用合計	208	275
経常利益	715	932
特別利益		
固定資産売却益	21	—
特別利益合計	21	—
特別損失		
固定資産除却損	29	79
減損損失	457	—
特別退職金	169	—
特別損失合計	657	79
税金等調整前四半期純利益	79	853
法人税、住民税及び事業税	225	289
法人税等調整額	△693	415
法人税等合計	△468	705
少額株主損益調整前四半期純利益	547	147
少数株主利益	94	132
四半期純利益	453	15

四半期連結包括利益計算書  
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	547	147
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	148	22
繰延ヘッジ損益	36	1
為替換算調整勘定	1,523	△618
退職給付に係る調整額	—	132
持分法適用会社に対する持分相当額	—	1
その他の包括利益合計	1,708	△460
四半期包括利益	2,256	△312
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,091	△422
非支配株主に係る四半期包括利益	164	109

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	79	853
減価償却費	1,256	1,243
減損損失	457	—
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	△100	—
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	—	△262
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	△93	△49
賞与引当金の増減額 (△は減少)	5	30
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	59	△25
受取利息及び受取配当金	△83	△99
支払利息	129	113
特別退職金	169	—
固定資産除却損	29	79
固定資産売却損益 (△は益)	△21	—
売上債権の増減額 (△は増加)	△2,258	739
たな卸資産の増減額 (△は増加)	110	134
仕入債務の増減額 (△は減少)	△477	△671
その他	257	△235
小計	△478	1,850
利息及び配当金の受取額	93	96
利息の支払額	△136	△113
特別退職金の支払額	△169	—
法人税等の支払額	△366	△405
営業活動によるキャッシュ・フロー	△1,056	1,427
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△1,469	△1,361
有形固定資産の売却による収入	227	10
投資有価証券等の取得による支出	△292	△116
投資有価証券等の売却による収入	2	10
貸付けによる支出	△5	△97
貸付金の回収による収入	5	52
その他	63	209
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,468	△1,293
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	1,656	△1,711
長期借入れによる収入	3,000	3,100
長期借入金の返済による支出	△1,873	△1,941
配当金の支払額	△163	△163
その他	△86	△73
財務活動によるキャッシュ・フロー	2,532	△790
現金及び現金同等物に係る換算差額	228	△95
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	235	△751
現金及び現金同等物の期首残高	3,912	4,269
現金及び現金同等物の四半期末残高	4,148	3,517

## (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

前第2四半期連結累計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)

	報告セグメント					調整額 (百万円)	四半期連結 損益計算書 計上額 (百万円)
	機能製品 (百万円)	電子・光学 製品 (百万円)	建材関連 (百万円)	エンジニア リング (百万円)	合計 (百万円)		
売上高							
外部顧客への売上高	<u>12,497</u>	6,961	4,785	<u>1,731</u>	<u>25,974</u>	<u>387</u>	<u>26,361</u>
セグメント間の内部 売上高又は振替高	<u>12</u>	2	2	572	<u>588</u>	<u>△588</u>	—
計	12,509	6,963	4,787	<u>2,303</u>	<u>26,562</u>	<u>△201</u>	<u>26,361</u>
セグメント利益又は 損失(△)	<u>1,103</u>	△475	71	<u>29</u>	<u>729</u>	<u>△14</u>	<u>715</u>

- (注) 1 外部顧客への売上高の調整額には、請負工事に係る収益計上のうち工事進行基準に基づく売上高が含まれております。
- 2 セグメント利益の調整額には、棚卸資産に係る未実現損益及び各セグメントに配分していない一般管理費が含まれております。
- 3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

当第2四半期連結累計期間(自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)

	報告セグメント					調整額 (百万円)	四半期連結 損益計算書 計上額 (百万円)
	機能製品 (百万円)	電子・光学 製品 (百万円)	建材関連 (百万円)	エンジニア リング (百万円)	合計 (百万円)		
売上高							
外部顧客への売上高	<u>11,352</u>	7,185	5,490	<u>3,879</u>	<u>27,906</u>	<u>△1,436</u>	<u>26,470</u>
セグメント間の内部 売上高又は振替高	<u>270</u>	1	10	558	<u>839</u>	<u>△839</u>	—
計	<u>11,622</u>	7,186	5,500	<u>4,437</u>	<u>28,745</u>	<u>△2,275</u>	<u>26,470</u>
セグメント利益又は 損失(△)	<u>791</u>	△116	298	<u>123</u>	<u>1,096</u>	<u>△164</u>	<u>932</u>

- (注) 1 外部顧客への売上高の調整額には、請負工事に係る収益計上のうち工事進行基準に基づく売上高が含まれております。
- 2 セグメント利益の調整額には、棚卸資産に係る未実現損益及び各セグメントに配分していない一般管理費が含まれております。
- 3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。